



Fraunhofer ITEMとMolecular Networks Altamira (MN-AM)は、反復投与毒性試験に関するFraunhoferのRepDoseデータベースをMN-AMのChemTunesに統合するための共同開発を発表します。これによりChemTunesは化学物質の安全性評価とリスク評価をさらにサポートします。これはRepDoseデータベースの包括的なコンテンツが公的あるいは商業的に提供される最初の事例です。

RepDose データベースとは

Fraunhofer ITEMにより構築されているRepDoseデータベースは、反復投与毒性試験から得られた信頼できるNOEL値またはLOEL値と付随する影響を提供するために、高度に選択されたデータを格納する目的で欧州化学品工業連盟(CEFIC)の研究助成事業LRI(The Long-range Research Initiative)により最初に開始されました[1]。RepDoseは、毒性試験の信頼できる評価基準も提供します。RepDoseデータベースは詳細なプロフィールが登録されており、そのデータ品質の高さで広く知られています。

RepDose データベースの登録内容*

		化合物数	試験数
試験タイプ	短期毒性試験	345	503
	亜慢性毒性試験	384	652
	慢性毒性試験	316	667
生物種	ラット	620	1,243
	マウス	291	512
	イヌ	35	67
投与経路	経口投与 - 一般	8	9
	経口投与 - 胃挿管/経口挿管	345	951
	経口投与 - 飲水	88	204
	経口投与 - 混餌	322	658

* RepDoseデータは年1回更新されるため、この表の数値も変化します。

[1] Bitsch A, Jacobia S, Melbera C, Wahnschaffe U, Simetska N, Mangelsdorf I, REPDOSE: A database on repeated dose toxicity studies of commercial chemicals—A multifunctional tool. *Regulatory Toxicology and Pharmacology* 2006, 46(3), 202–210.



● 詳細につきましては、お問い合わせください。 ● 記載の商品名は各社の商標または登録商標です。 ● 本カタログの記載内容は予告なく変更される場合があります。



MN-AM 日本代理店
株式会社モルシス
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-9 ジオ八丁堀
Phone: 03-3553-8030 FAX: 03-3553-8031
URL: <https://www.molsis.co.jp/> E-mail: sales@molsis.co.jp

(2018/06/18)